

トラック輸送情報（平成25年3月分）

平成25年 6月 4日

総合政策局 情報政策課 交通統計室

担当：桑原 内線28723

直通：03-5253-8346

<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

調査対象24社の本月の輸送量は、5,543,687トンで、前月と比べ総輸送量が約798千トン増加したため、前月比116.8%（季節調整済み102.1%）となり、前年同月との比較では、約4千トン減少したため、前年同月比99.9%の実績であった。

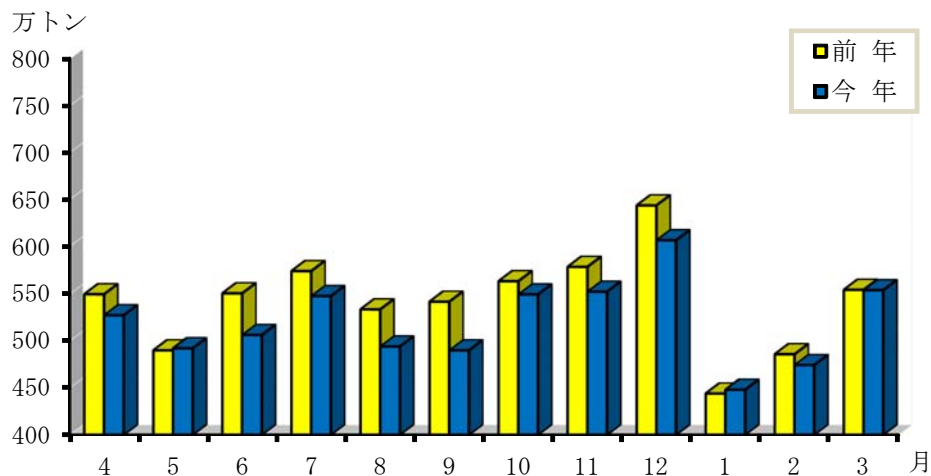
なお、平均稼働日数は24.1日で、前月と比べ1.6日増加し、前年同月との比較では、1.1日減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、230,029トンで、前月と比べ約19千トン増加したため、前月比109.1%となり、前年同月との比較では、約10千トン増加したため、前年同月比104.5%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

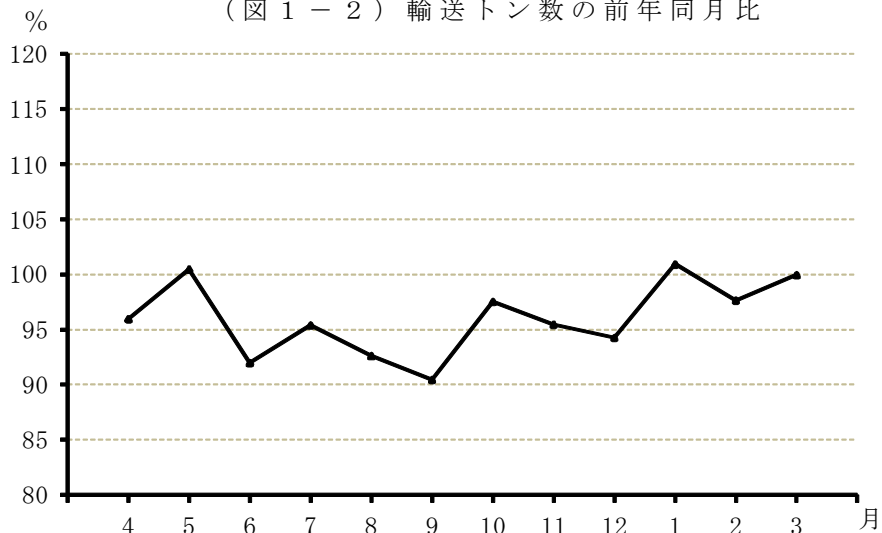
注）平成25年2月から貨物輸送の調査対象については、2社減り、24社となった。

前月比及び前年同月比は、24社ベースで比較している（図1-1及び図1-2は24社ベースで作成）。

（図1-1）輸送トン数の推移



（図1-2）輸送トン数の前年同月比

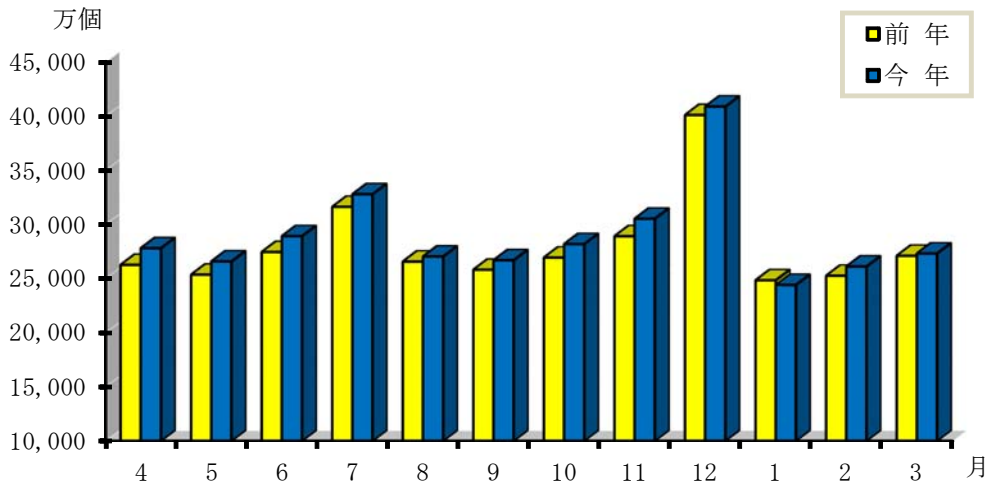


(2) 宅配便の概況

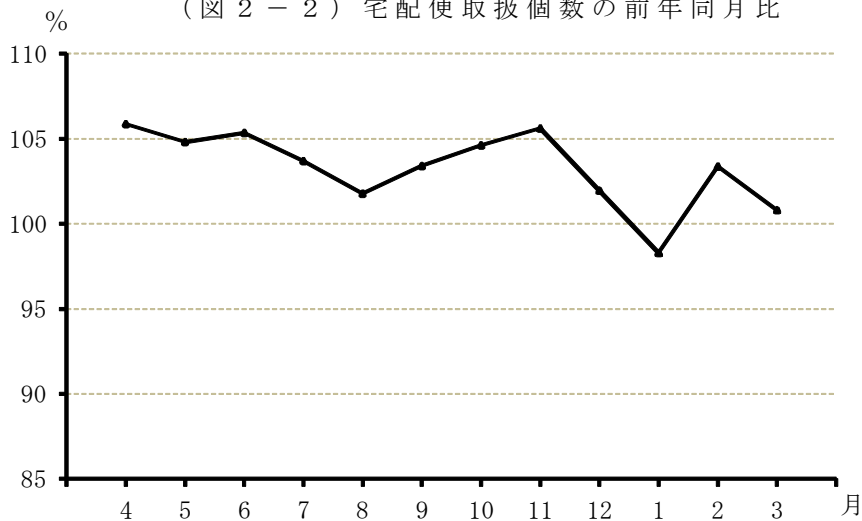
調査対象 17 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、273,382 千個で、前月と比べ 約 12,043 千個増加したため、前月比 104.6%(季節調整済み 97.6%)となり、前年同月との比較では、約2,152 千個増加したため、前年同月比 100.8%の実績であった。

(図 2-1、図 2-2 参照)

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 25 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、農水産品を除くすべての品目で輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増がほぼすべての品目に共通して見られたほか、倉庫から出る貨物増が「金属製品」、「化学工業品」で見られた。「金属製品」、「機械」の主な増加地域は関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方等であった。「日用品」の主な増加地域は関東地方であった。

前年同月と比べて、主な増減品目・地域・要因を回答する事業者は少なかった。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 25社)

品目	増減事業者数						主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因
	著 増	増	変 ら ず	減	著 減	減			
前 月 に 比 べ て	農水産品	1	1	13	1	2			
	金属製品		11	9		1	その他の金属製品	東京、北陸信越、中部地方、大阪、兵庫、中国	4, 7
	機 械		7	13				関東地方、北陸信越、愛知、大阪	4
	化学工業品	1	9	12			合成樹脂	神奈川、関東、大阪、中国	4, 7
	繊維工業品	1	4	17			織物	関東	4
	食料工業品		7	13			製造食品	関東	4
	日 用 品	2	8	10		1	書籍・印刷物、その他の日用品	関東地方、近畿、中国	4, 5
	そ の 他	4	4	10	1	1	その他(百貨店配送品、引越関連)		2
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品		2	11	2	2			
	金属製品			18	2	1			
	機 械			15	5				4
	化学工業品	1	2	13	6				
	繊維工業品	1		16	4	1			
	食料工業品		2	15	2				
	日 用 品	1	2	10	7	1	書籍・印刷物		
	そ の 他	2		11	5	2			

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。
なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者(本月の回答事業者788社/調査対象事業者数1,068社)の輸送量は、前月比 106.7%、前年同月比 101.3%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	101.3 %	108.6 %	99.2 %	98.4 %	100.6 %	100.0 %	95.0 %	101.8 %	101.2 %	95.3 %	96.4 %	
前 月 比	106.7 %	100.7 %	107.9 %	112.5 %	110.0 %	107.1 %	109.5 %	109.5 %	111.5 %	105.8 %	121.9 %	

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況(各運輸局より回答のあったもの)

北海道	<p>本月の輸送については、対前月比100.7%、対前年同月比108.6%であった。品目別では、工場、生産地からの貨物増により「石炭」、「鉄鋼」、「日用品」、「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、建設関連の需要減により「砂利・砂・石材」が、工場、生産地からの貨物減により「野菜・果物」が、季節的需要減により「その他の石油製品」、「廃棄物」、「その他(雪)」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送については、対前月比107.9%、対前年同月比99.2%であった。品目別では季節的需要増により「木材」、「化学肥料」、「食料工業品」、「動植物性飼・肥料」、「取り合わせ品」が、工場・生産地からの貨物増により「工業用非金属鉱物」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降は減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送については、対前月比で112.5%、対前年同月比98.4%であった。品目別では、季節的需要増により「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「その他の石油製品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送については、対前月比110.0%、対前年同月比100.6%であった。品目別では、季節的需要増により「取り合せ品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「その他の石油製品」、「その他の化学工業品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送については、対前月比107.1%、対前年同月比100.0%であった。品目別では、工場・生産地からの貨物増により「その他の製造工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送については、対前月比109.5%、対前年同月比95.0%であった。品目別では、年度末工事の貨物増により「非鉄金属」、「金属製品」が、デパート・スーパーからの貨物増により「食料工業品」が、輸出入の貨物増により「機械」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、年度末需要の反動により次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送については、対前月比109.5%、対前年同月比101.8%であった。品目別では、建設関連の需要増により「砂利・砂・石材」、「その他の窯業品」、「廃棄物」が、季節的需要増により「機械」、「食料工業品」、「取り合せ品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、建設関連の需要減により「機械」、「廃棄物」が、季節的需要減により「金属製品」、「化学製品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送については、対前月比111.5%、対前年同月比101.2%であった。品目別では、季節的需要増により、「穀物」、「野菜・果物」、「取り合せ品」が、工場・生産地からの貨物増により「工業用非金属鉱物」、「鉄鋼」、「機械」が、建設関連の需要増により「機械」が、デパート・スーパーからの貨物増により「食糧工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「野菜・果物」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送については、対前月比105.8%、対前年同月比95.3%であった。品目別では、季節的需要増により「野菜・果物」、「食料工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。一方、季節的需要減により「金属製品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送については、対前月比121.9%、対前年同月比96.4%であった。品目別では、季節的需要増により「その他の農産品」、「日用品」、「取り合せ品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、輸出入の貨物減により「その他の化学工業品」が、建設関連の需要減により「機械」が、工場・生産地からの貨物減により「金属くず」が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局		北	東	関	北	中	近	中	四	九	沖	全
		増	減	海	北	東	陸	部	畿	国	国	州	縄	国
1. 穀物	増		1			1					2		1	5
	減		1							1				2
2. 野菜・果物	増		1								5	9		15
	減	4	2							3	1			10
3. その他の農産品	増	2								1		2	2	7
	減	3					1							4
4. 畜産品	増									1				1
	減											1		1
5. 水産品	増													
	減	2	1											3
6. 木材	増	2	2	1	1						1	1	1	9
	減	1										1		2
7. 薪炭	増													
	減													
8. 石炭	増	2										1		3
	減		1											1
9. 金属鉱物	増	1												1
	減													
10. 砂利・砂・石材	増	2	1			1				2	1			7
	減	9	2			1				2		1		15
11. 工業用非金属鉱物	増		2			1					3	1	1	8
	減	1										2		3
12. 鉄鋼	増	2	1			1	1	1	1	1	4	2	1	14
	減		1	1			1			1	1	3		8
13. 非鉄金属	増		1	1					1	1		1		5
	減	1												1
14. 金属製品	増		1			2			2	1		3		9
	減	1	2							2		3		8
15. 機械	増	1	2	1	4	3	5	2	5	2	5	2	1	26
	減		1		1	3				2		1	1	9
16. セメント	増	2	1			1	2			1	1	4		12
	減	3	1				1			1		1		7
17. その他の窯業品	増		1			2	1			2				6
	減					1						1		2

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
18.揮 発 油	増											
	減		1		1			1				3
19.その他の石油製品	増	1	2						2			5
	減	7	1	1	1			1	1			12
20.コークス・ その他の石炭製品	増											
	減											
21.化 学 薬 品	増								1			1
	減				1			2				3
22.化 学 肥 料	増	1	4		2		1	1	1	2		12
	減				1							1
23.その他の化学工業品	増		2		1				1	2		6
	減				1	1				2	1	5
24.紙 ・ パ ル プ	増			1	1		2		2		1	7
	減	1				1						2
25.織 維 工 業 品	増				1			1				2
	減											
26.食 料 工 業 品	増	1	3			1	4	4	3	8	1	25
	減	1	3		1		1	1		2		9
27.日 用 品	増	3	3		1		2	1	1	3	2	16
	減	1			1		1					3
28.その他の製造工業品	増			1		2		1		1		5
	減							1	1			2
29.金 属 く ず	増											
	減										1	1
30.その他のくずもの	増								1			1
	減	1										1
31.動植物性飼・肥料	増	4	4	2						1		11
	減		2									2
32.廃 棄 物	増	4	2					3	1			10
	減	4	1					2				7
33.輸 送 用 容 器	増							1				1
	減		1							1		2
34.取 り 合 せ 品	増	1	3	1	2		1	9	2	5	3	27
	減		1		1			1		1		4
35.そ の 他	増	2	3	2	3	2	4	2	3	11		32
	減	4	1		2	1	1	1	1	1		12